



天上はるかに
秋田高校東京同窓会会報

2019

秋田高校東京同窓会

〒106-0032
東京都港区六本木 5-16-5
インペリアル六本木 1001
鎌田会計事務所内

TEL 03-5545-7775
FAX 03-5545-0087
Mail shuko-ob-jimukyoku@shuko-ob.net
http://www.shuko-ob.net/

2019年6月29日(土)

秋田高校東京同窓会
総会・懇親会

「平成」が終わり、新元号「令和」が始まります。中には、自分は西暦派であるので元号が変わろうが・・・という方もいらっしゃるかとは思いますが、公的書類での年月日記入等々、日本で暮らす上では元号と無縁というわけにはいかないのはいまでもありません。

俳人「中村 草田男」作の有名な句に「降る雪や明治は遠くなりけり」があります。生まれ育った明治から大正を経て昭和へとなる(なった)ことへの感慨・・・というだけでは解釈的に足りないものであろうかとは思いますが、現在同窓会で多数派を占める、「昭和」に母校を卒業し、「平成」を経て、「令和」を迎える皆さんには、感じるところ多々ありではないかと思えます。

さて、新元号「令和」最初となる総会・懇親会、まもなく開催です。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

講演者

鈴木 伸弥 氏
S49卒



明治安田生命保険(相) 取締役会長

4大生保の一角、団体契約数業界第1位の明治安田生命相互会社の取締役会長、鈴木 伸弥(のぶや)氏に講演いただきます。

鈴木氏は1979年京都大学理学部を卒業し安田生命(当時)に入社。同社にて山形支店長、経営調査室長などに着任。2004年同社は明治生命と合併、明治安田生命相互会社となる。その後管理統轄部長、商品部長などを経て2008年に執行役、2010年に常務執行役、2013年同社7年ぶりのトップ交代人事において現職の取締役会長に就任。同時に社長に就任した根岸 秋男氏と共にアクチュアリー(保険数理人)の出身であることが生保では珍しいトップ人事として話題を呼んだ。

開催要項

- 会 場 …………… ハイアットリージェンシー東京 >>>
- 受 付 …………… 16:00 ~
- 総会・事業報告 …… 16:30 ~
- 講 演 (鈴木伸弥 氏) …… 17:00 ~ 17:50
- 懇親会 …………… 18:00 ~

◆ 当日会費 ・8,500円

※ 同封の振込用紙にての前振込の場合は 8,000円です。

JR 新宿駅西口
徒歩約9分
都営大江戸線
都庁前駅A7出口
C4通路徒歩1分
丸ノ内線
西新宿駅徒歩4分



東京都新宿区西新宿 2-7-2 TEL 03-3348-1234

橋本五郎の
AKITA
元気トーク



秋田高校東京同窓会 会長
橋本 五郎 S40卒

ふるさとで「バス」は走るか

秋田県山本郡三種町で全国では初めてという試みが行われようとしています。地元の人たちの運転による「巡回バス」の運行です。私のふるさと三種町では国と県の補助、町の負担金で民間の秋北バスが4路線と、町が直接運営する2路線が走っています。しかし、秋北バスはとて採算が取れないと撤退を決めたため、これを機に、町がワンボックスカーを貸与し、8つの旧小学校校区ごとに地元の人たちで運行してもらおうということになりました。その「実証実験」が10月から始まります。

今各地で町の地元説明会が行われていますが、一番の問題は、運転してくれる人の確保です。仕事を持っている人は難しい。とはいっても高齢者では事故が心配だし、何人かでローテーションを組む必要があるということで、最初はどうかと危ぶまれました。でも手を挙げる人も出てきて、ともかく走り出してみようということになりました。

地方では過疎化、高齢化が進む一方です。どうしたらいいのか。国全体の政策とは別に、住民自身が自分たちでできることをしようと思わなければなりません。そして高齢化をマイナスにばかり考えないことです。長く生きているということはそれだけ知恵と経験が積み重ねられたものがそこにあるということです。それを利用しない手はありません。地元による地元のための「巡回バス」はその試みなのです。

私には3つの夢がありました。ひとつ目は廃校になった母校の小学校を図書館にすることです。ふたつ目はお年寄りが集まることができる家をつくることです。それは「橋本五郎文庫」と「五郎のえ(家)」として結実しました。残るのは、母が48年前に桜を植えてつくった「お年寄りの憩いの森」を整備することです。それも今踏み出そうとしています。「巡回バス」で老人が憩いの森に寄って花見をしている光景が今から目に浮かびます。